

鳥海高原の自然体験を楽しく

記入日：2012年7月8日

山形庄内ネイチャーゲームの会 佐藤裕子

1. はじめに

昨年の5月、酒田市教育委員会から来年度から酒田市の鳥海高原家族旅行村を使って、小学校4、5年生の自然体験学習をやりたいので自然体験学習のプログラム作りに協力して欲しいと言う依頼があった。庄内地区には隣の鶴岡市に金峰少年自然の家があるが、酒田市にはそのような施設がなく、市内の小学校は鶴岡市にまで行って自然体験学習をしていた。酒田市では、酒田の自然しかも鳥海山という酒田市民の誇りともなっている場所をフィールドに児童に自然体験をさせたい意向があった。そこで、鳥海山の麓の鳥海高原家族旅行村を基点とした自然体験学習の事業への取り組みが始まった。

2. 当日の実践内容

今年度は、初めての鳥海高原家族旅行村での自然体験学習の実践となる。そのため、試行として4校の実践があった。来年度以降のたくさんの小学校が利用することを考えて鳥海高原家族旅行村の職員2名にもネイチャーゲームリーダー養成講座に参加してもらい、資格を取得してもらった。また、地元在住のスタッフにも入ってもらいプログラム作りをした。

4校の内、1回目の学校は「音いくつ」「フィールドビンゴ」「自然の紋」を行った。児童は自然の中で楽しんで活動してくれたと思う。しかしこの鳥海高原には、モリアオガエルが住む心字池やイヌワシが飛ぶ森がある。このフィールドを活かし、そのことを体感して欲しいと思った。また、1回目が終わった後、下見をしていたら心字池の管理をいている方がとても一生懸命整備を進めてくださって、モリアオガエルの卵塊のそばまで遊歩道ができ、そのたまごをイモリが食べている場面を見ることができるようになっていることに気付いた。「これを活かさなくては」と思い2校目から「動物発見ラリー」の入ったプログラムに変更をした。

(1) 2校目の実践

2校目は90分間のプログラムなので「音いくつ」「動物発見ラリー」と、さいごに心字池の管理を下さっている方からの解説をいれた。

実施アクティビティ名	動物発見ラリー	登録番号 No,104	段階	カワウソ
このアクティビティの指導回数 今回1回目 (2012/6/27)				
導入で	「音いくつ」でたくさんのカエルの声が聞こえた。この声の生き物に会いに行こうと話し、会うために生き物をこわがらせないこと、じっくり見ること、安全に気をつけることなど伝えた。			
実践時で	最初の計画では、11の動物さがしなので説明が終わった後の活動に45分程度かかるものと思っていたが、実際は20分程度で最初の班がもどってきた。「カードさがしが一番はやくできたのがうれしい」になってしまったようなので「もう一度、本物の生き物に会ってきて」と促した。しかし30分程度でだいたいができしまった。どんな生き物と会えたか話し合っって終わりにした。			

まとめで	最後の時間を使って、心字池の生き物の解説を多めにしてもらった。モリアオガエルの卵塊と、モリアオガエルのこと、イモリのことなど、見てきた班がいたので関心を持って聞いていた。
------	---

(2) 3校目の実践

2校目の実践で、時間配分が良くなかったので実践時間を短めに、ラリーでもっと広く歩いてもらうために生き物数11から13に増やした。120分プログラムなので「音いくつ」「フィールドビンゴ」「ノーズ」「動物発見ラリー」をした。

実施アクティビティ名	動物発見ラリー	登録番号 No,104	段階 カワウソ
このアクティビティの指導回数 今回2回目 (2012/6/28)			
導入で	「ノーズ」で鳥海高原にいる動物3つをとりあげた。		
実践時で	説明10分、活動25分、分かち合い15分程度の割り振り時間で活動した。集合時間になったとき2班が戻っていたが、だいたいの班がすべての生き物カードを見つけてきた。		
まとめで	前回と同じ物他、カナヘビにあった班やキツツキの巣穴を観察してきた班がり、子ども達の興味が広がったように思った。		

(3) 4校目の実践

3校目の実践で生き物数はちょうど良かったが、歩く広さが狭かった様なので、生き物カードの場所を変えてみた。120分プログラムで「音いくつ」「カモフラージュ」「ノーズ」「動物発見ラリー」をした

実施アクティビティ名	動物発見ラリー	登録番号 No,104	段階 カワウソ
このアクティビティの指導回数 今回3回目 (2012/7/6)			
導入で	前回より前の活動で時間がかかったので「ノーズ」で動物2つを取り上げた。		
実践時で	説明10分、活動25分、分かち合い15分。集合時間になったとき1班が戻っていた。すべてカードを見つけない班が2班あった。		
まとめで	モリアオガエルの卵塊のほかにカエル、イトトンボの他にシオカラトンボ等を見つけた班があり前の実践の時より時間がかかった。		

3. 成果と課題

今回の活動で同じフィールドで同じアクティビティを3回実践できたことで、少しずつやり方を改善できた。子どもたちが、楽しそうにする様子がうれしく、自分でも楽しくなった。



今回の活動で、酒田の鳥海山麓の自然を子どもたちに少し体感させることができたと思う。課題としては、来年度、多くの学校が来たとき、実際にどのように対応しているかということだろう。でも今回の実践を基に、このフィールドで、このような活動ができるという決まったプログラムが作成できたので利用してもらえらると思う。

4. 本報告を活用される方へ

今回の報告では、鳥海高原家族旅行村というフィールドを活かすことのおもしろさが実感できた。それぞれの場所でそのフィールドを活かした活動をして欲しいと思った。